

みなしご通信



珍しい色のアメシヨール6歳

新入りさんのケージを見たら丸顔の猫がいました。由来を見るとこんな書き込み。8月21日に福岡から来たアメシヨール6歳。パステル系のめずらしい毛色のアメシヨールじゃ。こんな毛色じゃペットショップで高額で売られてそう。けど：パステル系ということは絶対NGな近親交配！繁殖屋がこんなことするから問題がある子が生まれるんじゃないかとカッカしながら次の文字を見るとなんと《安楽死》の文字。意味を聞いてみた



ら最初の飼い主（高齢者）に問題が起きて飼えなくなり引き取り手を探したところすぐに決まったのだが、その家には先住犬がいたとかでケージ飼いだっただけで「かわいそう」ってんで別の家に引き取られたんだそう。短期間に3軒も移動させられようやく落ち着いたかと思いきやその家で家人が立て続けにアメシヨールに咬まれたらしく「飼うのは無理だ」と動物病院へ連れて行き《安楽死を願ったのだそう》それでその動物病院の人がうちを紹介したらしい。3番目の《安楽死を希望した人》はうちに終生依頼の電話をしてきて料金や条件に対しては全く問題ないが「とにかく今すぐ迎えに来てくれ」と。そんなに簡単に今すぐ！と言

われても広島から福岡までですから「日程を調整する」と言ったら「もういい！」と怒って電話を切られたんだそう。その後すぐに動物病院から電話があり「なんとか助けたいのでその猫は今すぐ預かって当院の者が広島まで連れて行きます」実際に病院スタッフの人が連れて来てくださったんだそう。私は心からこの動物病院には感謝しております。

が動物病院の人以外の登場人物はどうなんですかね？繁殖屋とペットショップは問答無用にアウト！引き取った人にも問題ありですね。6歳の成猫だったにも関わらずなんで立て続けに引き取る人が現れたんじゃないか。普通なかなか譲渡先は決まらんですよ！珍しい毛色のアメシヨールだったからじゃない？とゲスな想像をしてしまう。

アメシヨールちゃんの身になってみて！母猫と引き離されて見世物ガラスケースへ。気づいたら婆さんち。突然移動させられ2軒目の

【アフラック換毛期】羽毛が抜けたのでおしりが丸見えです（笑）合鴨は飛べない鳥だからこんな派手な換



毛期が来てもなんてことはないですけど、飛べる鳥はここまで一気に換毛できないよね。季節が来たら古い羽を自分で抜く：全ての生き物たちにはそれぞれ《生きるための生体》があつてちゃんとそれに合わせでることを自分でやりながら今を生きている。なにも人間だけがスゴイわけじゃないじゃん：とつくづく。

家ではケージ飼いを強いられる3軒目の家では咬むからと安楽死を希望され：どうなん？

動物ですから《ちゃんと飼わないと咬む》と思うてください。当たり前のことです！何をしても咬まれるハズがない：と思うのは人間の《思い上がり》です。何が悲しくて愛情もかけてくれん人間の言うことを聞かずにいけんの？動物にだって感情もあれば気持ちもあるんじゃない！私は自称・動物愛護家じゃけんども咬みつき動物でも引き取るよ！現に多くの咬みつき犬

猫を引き取って育てとる！私たちはトレーニングのような《上からのこと》は何もしないで、私たちは一切手を出さず自由にさせて、私たちはただただ愛情だけかける。そうこゝしていて気を許して甘えてきてくれたならそこで初めてうんと甘えさせる。この単純明解な方法でうちに来た多くの咬みつき犬猫は咬まなくなっているのです。うちにいる咬みつき動物たちは過去には人を咬んだかも知れんけどみんなホンマに《ええ子》じゃし、かわいし♪

熊谷みなしご庵



私はいつも言っています

が1つの町に最低でも1軒は《多頭崩壊現場》があります。福祉関係の人が《仕事として》担当することに
なつたお宅が猫の多頭飼養現場だったなら：まずは動物愛護団体に相談し引き受けてくれたらできるだけ多

【福島のペット霊園で読経】

福島県玉川村にある玉川ペット霊園。2011年福島原発20km圏内の救援活動を始めたときから今日まで、私が関わった東日本の子たちは全員この観音様に見守られながらここに眠っております。

観音様に2人でお礼の読経をしました。私のTシャツが破れておりますがそこ



くの情報を団体と共有し、団体に速やかに猫を保護してもらい《猫が保護されいなくなつた後の家人の心のケア》をする。これが《仕事として》担当することになつたお宅が猫の多頭飼養現場だった場合の福祉関係の人ができる《範囲》だと思ひます。

もちろんこれだと動物愛護団体側の経済的な負担は大きいですが福祉関係の仕事をしている人には踏み込めない《部分》が多く、これぐらいしか実際できんですし、これを行政に頼むと事態は最悪な方向に向か

はスルーしてください。こゝゆゑとこが私の配慮の無さだと自覚しておりますので。

い最終的には殺処分しかないとなります。だからそれまで劣悪な環境で生かされていた猫たちを助けるにはこはいつちよ私たち動物愛護団体が踏ん張るしかないのかなと思ひます。理想論はいっぱいありますけどね、理想と現実が違うので！

いろんな質問がたまにたけど、結局は猫を捨てるヤツがいてそれを「かわいそ」と思う人が《とりあえず》家に連れて帰り《不妊手術もしないで》室内で増やして室内がゴミ屋敷と化し《セルフネグレクト》みたいなになつて《多頭飼養崩壊現場》ができ上がるので「かわいそうな野良猫をなくす」これが《新たな》多頭飼養崩壊現場を作らない唯一の方法です。

そのために私たちは身を粉にして「これ以上増えないように」「一代限りの命を守るために」TNR不妊手術に勤しんでいます、今もってまだ「捕まえたならここに戻すな！」とか言う身勝手な非常識なジジイが

多くいて陰い道なりではあります。が、殺処分することが当たり前だつた平成が終わつた今、私たち動物好きに追い風が吹いてることは間違いありません。何度とも言いますが理想と現実

は違うので！私としてはもつともつと《TNRに特化した活動家》が増えてくれることを望みます。TNRをしていたらね、どうしてもRリター

ンできない猫に出会ふんじゃない、その子を保護してしまふと次からのTNR活動に影響していくから《心を強く持ち》あちこち多方面に手を広げない《TNRに特化した活動家》が増えてくれることを、私は心から望んでいます。

10月の予定

2日 北本TNR 5日 川西TNR 22日 垂水TNR 23・24日 延岡TNR

本紙は中谷百里代表ブログ「みなしご庵へようこそ」の記事を抜粋したものです。

ソフトバンクの「がざして募金」、ジャパングビンで寄付ができます。
(<https://japangiving.jp/supports/1281>) 皆さまか



みなしご通信のバックナンバーは、公式ページ
(<http://www.minashigo.jp/newpaper/index.html>)に掲載しております。



犬猫みなしご救援隊

〒731-0234

広島県広島市安佐北区可部町大字今井田690-2

TEL : 082-812-3745 FAX : 082-815-2711